

●学習指導プラン【高等学校 第2学年 学校設定科目】

| | | | |
|-------|---|----|--|
| 学習内容 | 学校設定科目「未来創造学」 持続可能な社会を考える | | |
| ねらい | エネルギーに関する地球規模での問題を理解する。 それぞれの発電方法の長所と短所を考える。 | | |
| 段階 | 学習活動・内容 | 時間 | ○ 指導上の留意点 評価（評価方法） |
| 問題把握 | 「再生可能エネルギーの推進による新たな社会づくり」のために、どのような施策が進められているのかを知る。 | 10 | ○『福島県再生可能エネルギー推進ビジョン』から抜粋したことを伝える。 低炭素化やエネルギーの地産地消に興味関心をもち、進んで施策を調べようとしている。（プリント問題への取り組み状況で、関心・意欲・態度を評価する。） |
| 問題追及 | <ul style="list-style-type: none"> ・化石燃料の使用と地球温暖化の関連について知る。 ・世界のエネルギー需要の動向を知る。 ・それぞれの発電方法の長所と短所を考える。 ・班ごとに発表する。 | 30 | <p>○ 化石燃料はいずれなくなってしまうことを理解させるとともに、地球規模の問題につながっていることを意識させる。</p> 資源可能採掘年数を予想しながら調べ、結果を記録している。（タブレットを用いて資源について調べられているかの技能を評価する。） 太陽光、風力、地熱、水力、バイオマスについて長所と短所をグループで考える。（グループ内でまとめたことを前に出で発表させることにより思考・表現を評価する。） |
| まとめ | 「持続可能な発展可能な社会づくり」のためにどのようにすべきか、考えをまとめて表現する。 | 10 | <p>○ 既存の発電方法にこだわらず、持続可能であるかどうかの観点で判断できるように促す。</p> 化石燃料に頼ることは、資源の枯渇を招くことを理解している。（プリントに記入した考えが、既習事項と結びついているかを見ながら知識・理解を評価する。） |
| 作成推進校 | 福島県立ふたば未来学園高等学校 | | |